「サステナブルな社会」と「企業の成長」の両立

TDKグループサステナビリティビジョン

TDKグループを取り巻く社会には、気候変動をはじめエネルギーや資源の枯渇などの環境問題、高齢化社会や情報格差など、さまざまな社会課題が存在します。TDKはこれらの課題解決への貢献、つまり将来世代における持続可能な社会構築に向けた貢献を果たしていきます。

TDKグループは、経営理念に基づき事業を通じて社会課題の解決を目指すことを基本とするとともに、独自のコアテクノロジーとソリューションを最大限生かし、「すべての人々にとって持続可能で幸福な社会を実現する」ことを描いたTDKグループ「サステナビリティビジョン」を策定しています。このビジョンをグループ全体で共有しながら事業への落とし込みを図り、幸せな社会の実現に向けた具体的施策を検討・実践しています。

TDKグループ
サステナビリティビジョン

“テクノロジーですべての人を幸福に”

TDKグループは、地球環境の再生・保護に努め、
人権を尊重し、独自のコアテクノロジーと
ソリューションの提供により、すべての人々にとって
持続可能で幸福な社会を実現する

中期経営計画「Value Creation 2020」とサステナビリティ

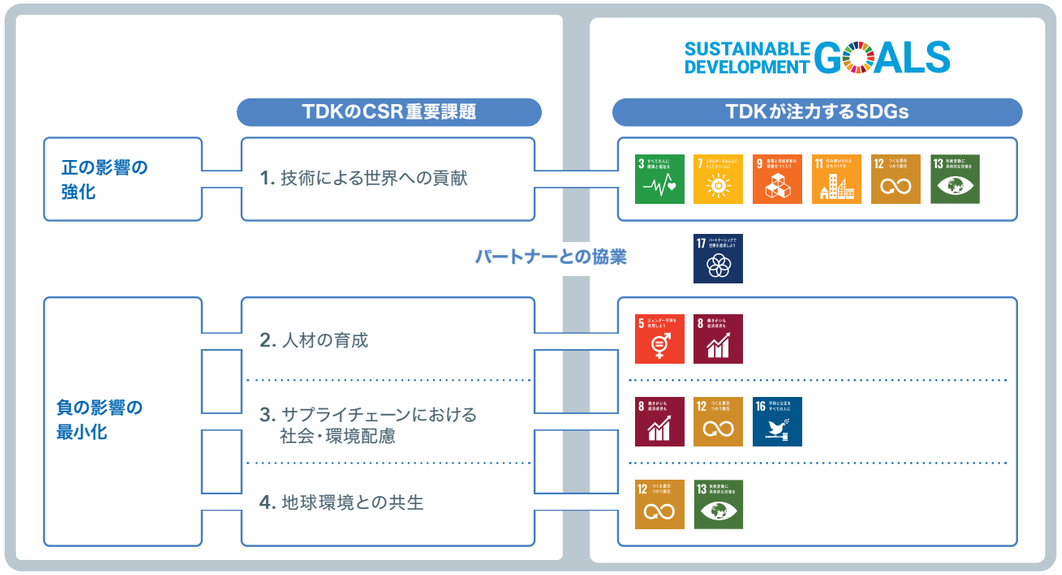
中期経営計画「Value Creation 2020」では、企業価値を作り上げる３つの「Value」を創造しながら社会に貢献し、その結果として事業を成長させることを目指しています。中でも「Social Value」、つまりサステナブルな社会と企業を目指していくことが、「Commercial Value」や「Asset Value」の創造につながるサイクルの起点となると考えています。この「社会のサステナビリティ」と「企業の成長」の両立への考え方が組み込まれた中期経営計画を推進することで、事業を通じたサステナビリティへの貢献と企業の成長の両立を目指します。

TDKのCSR重要課題（マテリアリティ）

SDGsとCSR重要課題（マテリアリティ）

全世界すべての国が取り組み、2030年までに達成するべき17の目標が示された国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」。TDKは、事業を通じてSDGsに掲げられた地球規模の課題解決に取り組むことが、企業価値向上につながると考えています。

具体的には、TDKグループが優先して取り組むべき課題を4つのCSR重要課題（マテリアリティ）として掲げ、SDGsに取り組んでいます。



CSR重要課題（マテリアリティ）の重要テーマ

TDKグループは特定したマテリアリティに取り組み、確実な成果をあげるため、具体的な重要テーマを定めています。各所管部門において、担当する重要テーマのPDCAサイクルをまわすことで継続的改善を図っています。

重要テーマは、毎年、事業計画を策定するタイミングで社会動向等を踏まえて見直し、経営会議の承認を経て決定しています。

CSR 重要課題（マテリアリティ）	重要テーマ
1 技術による世界への貢献	• 世の中にない新製品の開発・提供を通じた社会課題解決への貢献 • 「ゼロディフェクト品質」の追求
2 人材の育成	• グローバル人材の育成 • 多様性を尊重する企業風土の醸成
3 サプライチェーンにおける社会・環境配慮	• 生産拠点における労働環境配慮 • サプライヤーにおける労働環境配慮 • 責任ある鉱物調達
4 地球環境との共生	• ライフサイクル視点での環境負荷の削減 • 製品貢献量算定の枠組みづくり